

最優秀に森山さんの「潜」

JIA九州ラデザインレビュー

全国の大学や大学院、高等専門学校などで建築を学ぶ学生の作品の講評を通じて現代建築や都市環境を取り巻く問題を議論し、デザインの可能性とリアリティについて幅広く意見交換する「デザインレビュー2019」（主催：デザインレビュー2019実行委員会）が8、9日、福岡市東区のアイランドシティ中央公園内の体験学習施設ぐりぐりぐりで開かれ、最優秀賞に森山広崇さん（滋賀県立大学）の「潜」が選ばれた。

デザインレビューは日本建築家協会（JIA）九州支部（川津悠嗣支部長）が共催、総合資格学院（岸隆司学院長）が記録誌出版を含む特別協賛。JIA全国学生卒業設計コンクルの九州地区予選も兼ねており、本選司会者として田中智之氏、審査員として▽光嶋裕介▽島田陽▽竹山聖▽土居義岳▽藤村龍一の5氏を招いて開催した。

九州地区予選も兼ねており、本選司会者として田中智之氏、審査員として▽光嶋裕介▽島田陽▽竹山聖▽土居義岳▽藤村龍一の5氏を招いて開催した。「繁花」をテーマとした今年からは全国から228作品の応募があり67作品が予選を通過。さらにこの中からポスターセッションや投票を経て選ばれた8作品の展示者が9日の決勝プレゼンテーションで建築観や作品への思いを披露した。

最優秀賞に選ばれた森山さんは多様な自然の中にフオリ（用途のない建築物）を建て、絵画的・空間的な想像力を結びつけたことが評価された。優秀賞には鈴木遠太さん（明治大学）の「たとえ基準線にかさぶたを」、中家優さん（愛知工業大学）の「輪中建築」が選ばれた。

審査員らは「問題設定を作品に変換するプロセスが粗雑」「他者への想像力を持つことが建築家の栄養になる」「以前は内部空間を分析する単位は部屋だった

の安全・安心向上へ

熊本県知事は事業採択から半年という短期間での着工に思を示し「砂防施設の整備進むことで地域住民の安心住まいの再建につながり、本地震からの復旧・復興が速すると期待している」と評を述べた。

事業概要説明で辻芳樹熊本興事務所長は「確実に、着に事業を進める」と力を込めた。同事業では阿蘇市と高森南阿蘇村の黒川上・下流



地区、中央火口丘西部地区、高森地区で土砂災害対策として2018～27年度に事業費約150億円を投じ、集中的に砂防堰堤などを整備。約600戸の家屋、国道57号や325号、JR豊肥本線への土砂災害を防止・軽減する。砂防堰堤の数は全体で25基程度を予定し、初弾として約4万立方メートルの土石流を捕捉する西湯浦川1砂防堰堤（施工||杉本建設）、約5000立方メートルの土石流を捕捉する盤名木川砂防堰堤（同||森工業）に着工する。



最優秀賞を受賞した森山さん（中央）

分析する単位は部屋だったが昨今それを分解し断片や部位で見ると建築的に像を結ばなくなる」などと講評。

川津支部長は「この2日間が皆さんの今後の建築人生に大きな価値をもたらすことを願う」、総合資格学院九州本部の小川一也本部長は「2日間で先生方からアドバイスを受け各自で考えたことが成長につながるのでは」と述べ、出展者や実行委員の労をねぎらった。最優秀賞、優秀賞以外の受賞者は次の通り。▽受賞者名（学校名）||受賞名。敬称略。

- ▽石橋佑季（九州大学）
- ||光嶋裕介賞、JIA賞▽小澤成美（九州産業大学）
- ||島田陽賞、JIA賞▽伊藤京子（慶応義塾大学）
- ||竹山聖賞▽市川和樹（名城大学）
- ||土居義岳賞▽佐塚有希（明治大学）
- ||藤村龍一賞▽戸上夏希（九州産業大学）
- ||JIA賞▽田口未貴（九州大学）
- ||同▽谷口あひの（佐賀大学）
- ||同▽松尾賢史（熊本大学）
- ||同。

休日の大規模地震想定しBCP訓練

鹿島九州支店

鹿島九州支店（河野健吾常務執行役員支店長）は9日、福岡市博多区の同支店などで休日の大規模地震発

震災対策 担し従業員 支店ビルの CPプラッ い、統合情 用して施工 み物件の被 支援要請内

2019年3月12日 日刊建設工業新聞